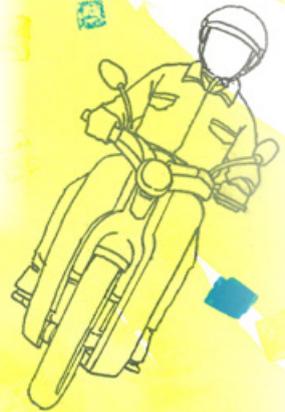


四つの季節の鉄道ものがたり 春

# 原付の風除けになる電車 津村記久子



イラスト・岡林玲

高校生の頃、阪堺電車に一回も乗ったことがないままアルバイトをしたことがあった。一月一日から三日までの、地上集札のアルバイトだった。正月の三が日は、あまりにも乗車する人が多いため、おそらく電車内での集札では間に合わないからだったと思うのだが、わたしはお客さんを誘導しながら、なぜこの電車は電車なのに切符も改札もないんだろう、と不思議に思っていたものだった。当時のわたしにとって、電車と切符は切り離せない物同士だった。ちなみに正月でない日でも天王寺駅前駅では駅員さんが集札をしているのだが、それを知ったのは阪堺でアルバイトをした十数年後のことだっ

た。切符も改札もなく、降車の時に払うというバスのようなシステムは、当時は謎だったけれども、電車内で集札するということは駅が無人でもかまわないということ、今は阪堺の規模にあった合理的な方法だなと思う。バスつばいけど電車。個人的にはそれが阪堺電鉄のイメージで、道路にある小さな駅にさえ行けば階段の上り下りをせずに乗れる気軽さがとても好きだ。地上を走る電車でも地下鉄でも、どれだけ毎日のように利用していても近所のコンビニに行くような感覚だったとしても、「さあ乗るぞ」というわずかなストレスがどこかにあるのかもしれない。けれども阪堺は、それこそコ

ンビニにでも入るような感覚で乗ることができる。バスつばいさといえど、地元密着のアナウンスもおもしろい。阪堺に乗っていると聞こえてくる、ある不動産会社の名前を覚えてしまつて、近所の建物にその会社の名前の看板が掛かっていたりすると、本当にあの会社はこのへん一帯で盛んに仕事をしているのだなあ、と妙に感慨深くなったりする。阪堺のアナウンスはけっこう特徴的で、わたしはそれを参考に小説を書いたりしたこともある。

阪堺は乗るのもおもしろいけれど、見るのもおもしろい。線路のある道路を夜歩いていて、道路の真ん中を通り過ぎる阪堺の車体にはとても存在



# みんな てら

CONTENTS

Vol.

69

2019

◎日本民営鉄道協会とは？

昭和42年に社団法人として設立、平成24年4月1日付で一般社団法人に移行、73社の民営鉄道会社で組織されています。

輸送力の増強と安全輸送の確保を促進し、鉄道事業の健全な発達を図り、もって国民経済の発展に寄与することを目的とした活動を行っています。なお、JR各社や公営地下鉄などは加入していません。

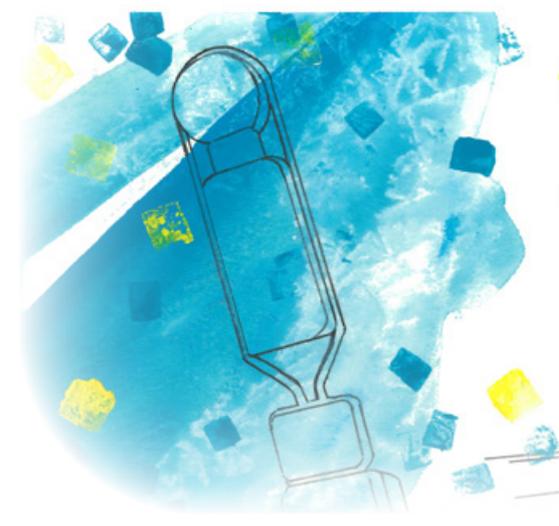
感がある。煌々と明るい車内が浮遊するように通り過ぎる様子は幻想的だ。車道に堂々と敷かれていた線路もい。ふつう線路というと、一般のわたしたちが絶対に立ち入ってはいけないものだけでも、路面電車である阪堺の線路は踏めるし渡れる。自動車と領域を同じくしているということ、原付のおじさんが阪堺の車体を風除けにするように後ろからついてくるのを見ることがある。

阪堺電車に乗ると、空いていけばだいたいいちばん後ろの席に座る。後方の窓から、遠ざかっていく町の景色を眺めていると安堵を感じる。後ろ向きに町を通り過ぎることは、もちろんなかなか体験できないことだから、そういう珍しさや楽しさもある。日常的に利用する電車で「電車に乗る」ということのアトラクション性が高もつとも高いのは実は阪堺電鉄だ。書いていると、また乗りに行きたくなってきた。

末永い隆盛を願う。

つむらぎくひ

作家。大阪府生まれ。2005年「マンイーター」（単行本化にあたり「君は永遠にそいつらより若い」に改題）で第21回太宰治賞を受賞しデビュー。08年「ミュージック・プレイス・ユー！！」で第30回野間文芸新人賞、09年「ボトスライムの舟」で第140回芥川賞、11年「アーカーズ・ダイジェスト」で第28回織田作之助賞、13年「給水塔と亀」で第39回川端康成文学賞、16年「この世にたやすい仕事はない」で第66回芸術選奨文部科学大臣新人賞、17年「浮遊電ブラジル」で第27回紫式部文学賞を受賞。著書に「カソウスキの行方」「ボリスケ」「エウリシキング・フロウズ」ほか多数。近著に「ディス・イス・ザ・デイ」がある。



## 02 四つの季節の鉄道ものがたり 春 原付の風除けになる電車

●作家 津村記久子  
基調報告◎

## 04 東京圏の鉄道と沿線経営の新展開

●政策研究大学院大学 政策研究センター所長 森地茂

特集／複々線化事業と「選ばれるまちづくり」  
〔沿線エリアの価値創造 小田急電鉄の取り組み〕

## 08 TOP INTERVIEW 複々線をスタートに

「選ばれる沿線」へと魅力を高める

●小田急電鉄株式会社 取締役社長 星野晃司

## 12 ARCHIVES 小田急小田原線

複々線化50年のあゆみ

REPORT 1

## 14 複々線化完成と 輸送環境の改善

●小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部  
交通企画部 課長 高橋洋一／工務部 課長 宮原賢一／  
運転車両部 課長 山崎直／旅客営業部 課長 山次拓浩

## 19 INTERVIEW COLUMN 複々線化事業とともに歩んだ30年

●小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部  
交通企画部 部長 小川司

## 21 鉄道と道路の交差を再構築して 円滑な移動を

●東京都建設局 道路建設部長 奥山宏二

REPORT 2

## 22 複々線効果と魅力ある まちづくり

●小田急電鉄株式会社 生活創造事業本部  
開発推進部 課長 橋本崇／開発推進部 課長 杉森俊彦  
／まちづくり推進部 課長 西村靖生

INTERVIEW COLUMN

## 27 鉄道上部に新たなまちをつくる

●世田谷区 北沢総合支所支所長 高木加津子

●取材協力 小田急電鉄株式会社 執行役員 CSR・広報部長 山口淳／  
課長 藤田雄介／課長代理 斉藤庸介

## 28 連載 地方民鉄紀行 和歌山電鉄株式会社

連載 最終回 大正・昭和の鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界  
青森

●元首都大学東京非常勤講師 藤本一美